

2016年10月26日

東北数学教育学会「第48回年会」プログラム

東北数学教育学会会長 栗原 秀幸（福島大学）

東北数学教育学会第48回年会を、下記のプログラムで開催します。ご参会のほどよろしくお願ひ申し上げます。

1. 日時 2016年11月26日(土) 13:00～15:50
2. 場所 福島大学国際交流会館「チェンバ舟場」
〒960-8103
福島市舟場町4-30
電話：024-521-2428
駐車場有



- <JR・バス利用> JR福島駅下車，福島交通バス利用3分（バイパス経由 医大行・他，福島駅東口→舟場町）
- <自動車利用> 東北自動車道福島西ICより20分

3. 参加費 300円（学部生・ストレートマスターは無料）

4. 時程

- 12:30～13:00 受付
- 13:00～13:05 開会あいさつ
会長・栗原 秀幸
- 13:05～13:35 発表①～②の座長 (椎名 美穂子)
発表①: Daily Practice Teaching Mathematics in Honduras (ホンジュラスにおける数学教授の実践について)
Sandra Ordoñez (秋田大学留学生)
通訳: 杜 威 (秋田大学教育文化学部)
- 13:35～14:05 発表②: 公理的方法の考えに基づく小数乗除の学習指導の実践的提案
市川 啓 (山形大学地域教育文化学部)
成澤 結香里 (山形市立第九小学校)
- 14:05～14:15 休憩 (10分)
- 14:15～14:45 発表③～④の座長 (市川 啓)
発表③: 発展的に考える授業の展開を視点にした小学校算数「扇形の面積」の考察—
佐藤 学 (秋田大学)
重松 敬一 (奈良佐保短期大学)
赤井 利行 (大阪総合保育大学)
杜 威 (秋田大学)
新木 伸次 (国士舘大学)
- 14:45～15:15 発表④: 食塩水にかかわる問題を「ベクトル」と「座標平面」の考えを使って考える
栗原 秀幸 (福島大学)
- 15:15～15:45 総会・事務連絡
佐藤 学 (事務局)
< 案件 >
1. 次年度役員選出
2. 次年度研究計画
3. 会計中間報告
4. その他
- 15:45～15:50 閉会あいさつ
会長・栗原 秀幸

5. 発表概要

- 発表者名 Sandra Ordoñez (秋田大学留学生)
- 発表題目 Daily Practice Teaching Mathematics in Honduras
- キーワード Mathematics class, approach, teacher experience, Honduran teachers.
- 発表概要 After graduating from the university teachers continue learning. As usual at the beginning they adapt to school, students and colleagues but eventually they gain experience and they stop using the materials, techniques or even words that they think might not help to their students to reach the goal of the class and they use more those that might. Although this is limited to school resources, academic backgrounds, and students among other aspects, it would be good to listen what teachers have to say about their daily practice in the mathematics class. Japanese teachers and Honduran teachers have much to say. In my comparative study about Mathematic Education of both countries first are analyzed the answers of Honduran teachers about different topics such as methods, stages of the class, teaching materials and so forth.
- 発表者名 市川 啓 (山形大学地域教育文化学部)
成澤 結香里 (山形市立第九小学校)
- 発表題目 公理的方法の考えに基づく小数乗除の学習指導の実践的提案
- キーワード 小数の乗除 意味指導 公理的方法
- 発表概要 異種の2量の場面で乗数や除数が整数になる場合の立式を扱い、その類推から乗数や除数が小数になった場合も同じように立式させる指導に問題意識をもち、その改善を試みた。公理的方法の考えをもとに、小数の乗除に関する学習指導を構想し、その構想に基づいて公立小学校5年生を対象に実験授業を行った。構想した授業と、実践の結果明らかになったことを発表する。
- 発表者名 佐藤 学 (秋田大学)
重松 敬一 (奈良佐保短期大学)
赤井 利行 (大阪総合保育大学)
杜 威 (秋田大学)
新木 伸次 (国士舘大学)
- 発表題目 発展的に考える授業の展開を視点にした小学校算数「扇形の面積」の考察—
- キーワード 振り返り
- 発表概要 全ての学習者が発展的に考えることを、統合的に考えることと連関する場合と、統合という方向性を持たない場合との2つの視点があると考え。これら2つの視点について、小学校算数「扇形の面積」の授業展開を考察し、2つの視点が作用する教師の言語活動を検討する。
- 発表者名 栗原 秀幸 (福島大学人間発達文化学類)

発表題目 食塩水にかかわる問題を「ベクトル」と「座標平面」の考えを使って考える
キーワード 食塩水，濃度，ベクトル，座標平面
発表概要 食塩水の問題は，多くの人々にいやな，遠ざけたい気持ちを起こさせる。
しかし，ベクトルを利用して考えると，意外にやさしく解決できる。また，
座標平面でグラフに直し視覚化するとこれもまたやさしく解ける。このこ
とを示し，小学校でのしがらみから脱出する方法を提案する。

※発表者の方々へ

配布資料がある場合は 20 部程度ご用意ください。発表時間には質疑の時間（5 分程度）も含まれています。

<第 22 回初夏研究会のご案内>

開催時期 2017 年 5 月下旬～6 月上旬
開催地 第 48 回年会総会にて決定

<お詫び>

遅れていました年報 48 号を発行します。年会にご出席の方には当日お渡しします。ご欠席の方には，後日発送いたします。発行が遅れましたこと，心よりお詫び申し上げます。

<問い合わせ等>

佐藤 学

秋田大学教育文化学部内 東北数学教育学会事務局

e-mail : 310417@math.akita-u.ac.jp

電 話 : 018-889-2595 (直通)